

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-505038 (P2001-505038A)

【公表日】平成 13 年 4 月 10 日 (2001.4.10)

【出願番号】特願 平 11-516482

【国際特許分類】

H 0 3 M 3/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 3 M 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 3 日 (2005.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年 8月 3日

特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示

平成11年 特許願 第516482号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヴィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号

霞山ビルディング7階 電話(3581)2241 番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



4 補正対象書類名 請求の範囲

5 補正対象項目名 請求の範囲

6 補正の内容 別紙の通り



1. 請求の範囲を下記の通りに補正する。

「 請 求 の 範 囲

1. アナログ入力信号をディジタル出力信号に変換するシグマデルタ変調器であつて：

ー アナログ入力信号に応答して増幅入力信号を供給する第1利得段を具えている入力回路網と；

ー 前記増幅入力信号と増幅帰還信号との比較結果に応答して差信号を供給する手段と；

ー 前記差信号をろ波し且つろ波した差信号を供給するフィルタリング手段と；

ー 前記ろ波した差信号をサンプリングすると共に量子化し、且つディジタル出力信号を供給する出力端子を有している手段と；

ー 前記ディジタル出力信号をアナログ帰還信号に変換するディジタルーアナログ変換器及び前記アナログ帰還信号に応答して前記増幅帰還信号を供給する第2利得段を具えている帰還回路網と；

を具えているシグマデルタ変調器において、当該シグマデルタ変調器がさらに：

ー 前記第1利得段と前記第2利得段とを規則的に入れ替える交換手段；

を具えていることを特徴とするシグマデルタ変調器。

2. 前記変換手段が、アナログ入力信号及び増幅帰還信号を受信する入力端子を有すると共に前記第1及び第2利得段の各入力端子に結合されて、これらの各入力端子にアナログ入力信号及び増幅帰還信号を規則的に入れ替えて供給する出力端子を有している第1スイッチング手段を具えていることを特徴とする請求の範囲1に記載のシグマデルタ変調器。

3. 前記第1及び第2利得段が、反転出力端子及び非反転出力端子を有する差動トランスコンダクタを具え、前記第1利得段の反転出力端子と、前記第2利得段の非反転出力端子とを第1ノードにて相互接続して、第1減算信号を前記フィルタリング手段に供給し、且つ前記第1利得段の非反転出力端子と、前記第2利得段の反転出力端子とを第2ノードにて相互接続して、第2減算信号を前記フィルタリング手段に供給するようにしたことを特徴とする請求の範囲1又は2に記載

のシグマデルタ変調器。

4. 前記第1減算信号と、前記第2減算信号とを入れ替える第2スイッチング手段も具えていることを特徴とする請求の範囲3に記載のシグマデルタ変調器。」